コロナ禍と弁論大会中止

副会長　城代　貴浩

太田市立太田高等学校は、毎年十二月に開催される太田市近接高校ユネスコ弁論大会の会場となっております。本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催できませんでしたが、次年度は開催の方向で準備をしていく予定です。お時間がございましたら、是非、会場に足をお運びいただき、高校生の主張に耳を傾けていただければ幸いです。

■生徒の作品紹介

我が人生

太田フレックス高　二年　志村菜々子

太田フレックス高校へ入学してからの生活が、私を大きく変えてくれた。授業はわかりやすく、友達がたくさんでき、人生初のアルバイトも経験した。地域の方々の生活に少しは役立っているのかなと考え、仕事をすることの意義や喜びを知った。また、生徒会の副会長となり、試練はありながらも充実していた。その中でのコロナ休校は、本当に辛かった。普段の学校生活がいかに貴重なことなのか、身に沁みてわかった。

高校生活後半も様々な活動から、色々なことを吸収し人生を歩んでいきたい。

自由のために何ができるのか

市立太田高　二年　飯島百々葉

原題：What can we do for our freedom? ※原文は英語です。

世界中の多くの国で、民主化を求めるデモが起きている。私は、その映像を初めて見たとき、その危険で暴力的な様子に衝撃を受け、「人々はなぜこんなことをしているのだろう」と思った。そして、現地の不公正な状況を知り心が痛んだ。こうした状況に関心を持ち、「自由のために戦っている人々のために、何ができるのか」ということを考えるようになった。

一方で、そのような状況を経験していない自分は幸運なのだとも思った。デモに参加した人たちが求めていたのは、言論の自由、報道の自由、平和的な生活を送る自由など、日本で私たちが当然持っているものだからだ。

これは他国の問題だが、世界の問題でもあり、私たちの問題でもある。私たちは社会の一員として、世界で何が起きているのかを知り、意識して考えなければならない。

来年度は、大会が開催され、生徒たちの声を、たくさんの皆様とともに会場で聞けるようになることを心から願っております。

出前授業

交流部長　真下　幸枝

ユネスコ出前授業とは、児童・生徒の国際理解や交流体験活動を目的に、学校に外国人留学生を派遣する授業です。市内の小中特別支援学校から希望を募り、関東学園大学の共催と太田市教育委員会の後援をいただき行っています。例年は、数校にて実施されますが、昨年はコロナ感染防止の観点から、従来の方法での実施が難しいと判断されたようで、出前授業の申込みはありませんでした。

このような状況の中、関東学園大学の皆様が出前授業への想いを寄せてくださいました。

異国・異文化で得た留学生の貴重な財産

関東学園大学広報室　高橋　勇吾

「未曾有の」という言葉が全世界的に当てはまる事態に身をおいたのは、今の世の中に生きる我々人類の殆どにとって「生まれて初めて」の経験であろう。卒業後の就職や更なる進学を夢みて始まった待望の大学生活が、新型の感染症の流行により一変した。しかし、彼らは進み続け、その姿には心底感銘を受ける。

彼らが毎年参加してきた太田ユネスコ協会主催の「小学校出前授業」。参加前は上手に出来ると自信満々の者、説明資料作成に煮詰まって弱音を吐く者など、当日まで我々まで巻き込んで毎年ドタバタだが、参加後の学生達はほぼ全員が「思った通りではなかった」との感想を漏らす。それは、普段我々や日本人学生を相手に会話する要領で小学生に話してもなかなか伝わらないということ、しかし、試行錯誤して説明して、小学生がキラキラした表情をして喜ぶのを見た時、「日本に学びに来たことは間違っていなかった」と確信し、予想以上にこの授業に参加したことが、留学での自分の財産になっていることに気づくという2点である。そんな感想が毎年多くの留学生から得られることは、担当者冥利に尽きる。この状況下にこそ、留学生達にはこうした貴重な経験が必要であると考える。関係者として、今後「小学校出前授業」の早期に再開に向け、尽力していく所存である。

大学一年生になって

関東学園大学　一年　エンフツヤ・ジャブハラントグス

私は、モンゴル出身です。東京の日本語学校から太田の関東学園大学に入学しました。

この一年は新型コロナウイルスのため、色々なことがいつもと違いました。中止になったイベントや休止中の活動ばかりで、勉強とバイト以外やれることがほとんどありませんでした。

せっかく日本に留学しているので、大学内外の国際交流活動にできるだけ多く参加したいです。先輩から、日本の小学生に母国について話すことができる活動があると聞きました。モンゴルは、日本人にとって身近だと思います。外見的には日本人と似た人も多いですが、文化は全然違います。母国の話を日本の子どもたちにしてみたいので、今から楽しみにしています。

苦しいことも多いですが、せっかく進学できた機会を活かし、これからも日本人とたくさん交流していきたいです。

変化が大きかった二〇二〇年

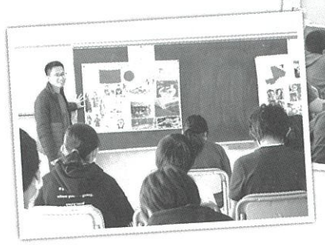
関東学園大学　三年　スティニ

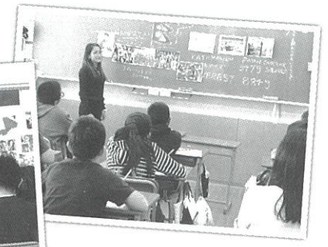
私はインドネシア出身です。私は人と交流することが好きで留学に来ています。二〇一九年までは、友達とみんなでご飯を食べたり、学校や太田市のイベントにたくさん参加したり、助け合って楽しく大学生活を送っていました。でも、コロナが流行したせいで、二〇二〇年はそれらができなくなりました。

やはりイベントに参加できないのは物足りないものです。小学校での出前授業もその一つです。楽しい活動の再会を心から願っています。

もうすぐ私は最終学年になり

ますが、就職活動と資格取得に力を入れながらも、残りの留学生活で様々な交流を楽しみたいです。





新役員紹介

ユネスコ協会
副会長
城代　貴浩

前副会長の竹内敏彦校長の後任としてお世話になることになりました太田市立太田高等学校の城代貴浩でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校では、高い志をもち、自ら未来拓く生徒の育成を教育目標に掲げ教育活動を行っています。また、教育活動の一環として環境教育にも取り組み、ISO14001の認証を受けています。これまでの本校の活動や取り組みは、本協会の事業に相通じるものがあると考えています。本校の成果を、本協会の事業に生かせるよう精一杯頑張ります。私ができることは、微々たるものですが、本協会の皆様やご協力いただいている皆様と一緒に、本協会の事業を盛り上げていきたいと思います。

さて、本校は、毎年十二月に開催される太田市近接高校ユネスコ弁論大会の会場となっております。本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催できませんでしたが、次年度は開催の方向で準備をしていく予定です。お時間がございましたら、是非、会場に足をお運びいただき、高校生の主張に耳を傾けていただければ幸いです。

ユネスコ協会
副会長
小嶋　恵子

今年度より、副会長をさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

世界中で、新型コロナウイルス感染症の拡大が進んでおり、まだまだ、先が見えない心配な状況が続いています。

今年度は、様々な行事や活動が中止や変更、縮小を余儀なくされてきました。学校でも、修学旅行や運動会等、当たり前のように実施してきた行事が、残念ながら、例年通りにはいきませんでした。

しかしすぐに中止と判断せず、「できることを、できる方法で、できる限り工夫して」子供たちの活躍場面を確保し、子供たちの笑顔を守っていくことが大切だと考えています。

こんな状況だからこそ、「心の中の平和のとりで」その礎を守り、「明日を生きる希望と力」を育む、ユネスコ協会の活動の大切さを改めて痛感しております。

大変微力ですが、副会長として、少しでもお役に立てればと考えております。

ユネスコ協会
副会長
穂積　昌信

休泊小のPTA会長、市P連副会長を務めさせていただいております。太田ユネスコ協会の役員として、また、一保護者として活動に参加させて頂いていることに感謝申し上げます。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症により、社会のみならず、子どもたちの環境も大きく変わりました。学校が休校になったり運動会や様々なイベントが縮小されたりするなど、のびのび活動することが困難になりました。

子どもたちにとって、友達とのコミュニケーションは重要です。再び、学校へ行けない日々が続き、授業がオンラインばかりになると友達とのコミュニケーションが減ってしまいます。子どもは大人と異なり、行動範囲も狭く学校以外で友達とのコミュニケーションの手段をあまり持っていないためです。

子どもたちの健やかな成長を促進するためにも、学校で様々な活動がのびのびできるようになることを望み、今後も太田ユネスコ協会との連携のもと、子どもたちが成長することをお手伝いできればと思います。

「なつかしの太田ユネスコ」

太田ユネスコ協会顧問　関口　実

太田ユネスコの会長職を去って五年が経とうとしています。

今、八十八才になり、ユネスコにかかわった日々を振り返ると緊張の日々があったり、やり甲斐を感じた日もありました。

しかし、どこに行っても太田ユネスコは日本で第一級の協会であるとの自信がありました。

日本には、何百というユネスコがありますが、会員の高齢化に伴い、必要な会員数の維持にみな四苦八苦しています。

この点で太田ユネスコは、市長をはじめ市議会議員の全員、教育長以下全教育委員、小中学校の全校長、小中高校の全PTA会長、幼稚園長会、百名を越す医師の方々の入会をいただいており、会員の維持に悪戦苦闘することがないのです。

太田ユネスコは、発足当初から活動の対象を小中高校生に絞っていました。その上、できる限りユネスコ協会外からの協力をいただいて、強力な活動に努めてきました。

中学生のイングリッシュスクールには市教委から二十名ほどの外国人英語教師を派遣いただいたり、児童生徒作品展では、展示に高所作業が伴うので、各小中学校PTAの協力をいただいていました。

高校生のスピーチ弁論大会では市立太田高校に全面的に運営協力をいただいておりました。

どの行事にも全力で当たることができたと思います。

「太田ユネスコに栄えあれ！」